

日蓮大聖人の言葉から学ぶ：亀鏡なければ我が面をみず
敵なければ我が非をしらず

心を結ぶ本泉寺通信

Musubi

Vol.12
2026
正月号

枯れ枝に
春待つ
夢も

風に
散る



令和八年（二〇二六）の干支は十干が「丙」十二支が「午」となり、組み合わせると『丙午』となります。十干十二支には五行と言われる「木・火・土・金・水」の五つの性質があり、丙と午は共に火の性質を持っており、「比和」と呼ばれる関係です。扱い方次第によって吉凶が出る関係性となります。



激しい変化の中で チャンスが訪れる年

一方で、火の性質には勢いが強すぎると周囲との衝突や焦りを生む面もあるため、熱をコントロールしつつ、明るさや温かさを人に分け与えることが運気をさらに高めるポイントとなります。

☆前向きな行動力

十二支の午は「馬」にたとえられます。自由で活発、スピード感

ります。六十年前の昭和四十一年には、ビートルズが来日した事でグループサウンズが人気となり、ミニスカートやロングブーツなどが流行し「原宿族」と呼ばれる独自のファッションを確立した若者が登場しました。またカラーテレビの本格普及や「いざなぎ景気」が始まり高度経済成長期に入ったのも丙午の年なのです。

☆太陽のように温かい光

丙は十干の三番目で、太陽のように明るく、あたたかく、周囲を照らす火の気を持ちます。光と熱をもたらす性質から、物事が前向きに進みやすく、新しいことや挑戦に運が開けるとされます。また、丙は活力や情熱、希望を象徴するため、人々の心に勇気ややる気を与える力を持つ年でもあります。

や行動力を象徴しており、人との交流や社会的な動きが活発になり、変化やチャンスが多く訪れる一年です。

☆革命的なことが起きる

新たなスタートとなる丙午年は火の勢いに任せて前進力が強くな

☆内なる火を絶やさずに

丙午の年は社会や世界が大きく動き、災害や政治・経済の変化が目立つ年とされます。しかし、火は照らす力も持ったため、困難の中にこそ学びや成長のチャンスがあります。焦らず、情熱を正しい方向に向け、人や自然、社会とのつながりを大切にすることで、明るく前向きな一年に出来るのです。



天星守護御本仏

開運北辰妙見大菩薩

新年特別大開帳

令和8年

1月1日(木) 午前9時御開帳



1月3日(土) 午後4時御閉帳

特別大開帳年中祈願

大人5000円

子供3000円

妙見大菩薩守護「黒守」一体2000円

※限定30体

☆大開帳祈願は毎朝9時より随時受け付けます

☆祈願申込の方には御祈祷後に祈願札を授与致します

☆妙見大菩薩「黒守」は1月1日に開眼致します



2026年新春初祈祷ご案内



新年 星祭 開運祈祷会

令和八年一月四日(日)

午後二時厳修

講演「令和八年度干支開運法」

講師 三谷恵乗僧正

千葉県西谷寺住職 千葉県東部修法師会会長

日蓮宗遠壽院加行所五行成満傳師相承

祈願料 大人 五千元

子供 二千元

※祈祷会終了後に祈願札を授与いたします

祈祷会参加ご希望の方は寺務所までご連絡下さい。

令和8年度厄年早見表（数え年）

	前 厄	本 厄	後 厄
男の厄年	24歳（未） 平成15年生	25歳（午） 平成14年生	26歳（巳） 平成13年生
	41歳（寅） 昭和61年生	42歳（丑） 昭和60年生	43歳（子） 昭和59年生
女の厄年	18歳（丑） 平成21年生	19歳（子） 平成20年生	20歳（亥） 平成19年生
	32歳（亥） 平成7年生	33歳（戌） 平成6年生	34歳（酉） 平成5年生
環 厄 （男女）	60歳（未） 昭和42年生	61歳（午） 昭和41年生	62歳（巳） 昭和40年生

令和8年度吉凶星早見表（令和8年2月4日～令和9年2月3日まで）

○方位除けの星（運勢の弱い星）：四緑木星・七赤金星

四緑木星：S17年、26年、35年、44年、53年、62年、H8年、17年、26年、R5年

七赤金星：S14年、23年、32年、41年、50年、59年、H5年、14年、23年、R2年

○運氣隆昌の星（一年が半凶・半吉の星）：二黒土星

二黒土星：S19年、28年、37年、46年、55年、H元年、10年、19年、28年、R7年

○八方塞がり除けの星（特に満36歳と満72歳は要注意）：一白水星

一白水星：S20年、29年、38年、47年、56年、H2年、11年、20年、29年、R8年

○歳破殺除けの星（物事がうまくいかない星）：六白金星

○除厄開運の星（困難が付きまとう星）：六白金星

○暗剣殺除けの星（他動的に攻撃される星）：六白金星

六白金星：S15年、24年、33年、42年、51年、60年、H6年、15年、24年、R3年

○開運招福の星（一年運氣好調の星）：三碧木星・五黄土星・八白土星・九紫火星

三碧木星：S18年、27年、36年、45年、54年、63年、H9年、18年、27年、R6年

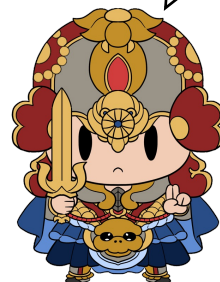
五黄土星：S16年、25年、34年、43年、52年、61年、H7年、16年、25年、R4年

八白土星：S13年、22年、31年、40年、49年、58年、H4年、13年、22年、R元年

九紫火星：S12年、21年、30年、39年、48年、57年、H3年、12年、21年、30年

令和8年 吉凶星 厄年 早見表

1月1日から2月3日
までの生まれは前年生
まれなので注意！



妙見くん

【厄年や星回りについて】

一年の節目には、心を新たに
し、無事息災を祈ることが大切
です。人にはそれぞれ生まれ年
に応じた「厄年」や「星回り」
があり、人生の転換期には心身
の調子や運氣が揺らぎやすいと
いわれます。その節目を穏やか
に過ごすために、古来より厄除
けや星祭（星供）の祈祷が行わ
れてきました。

当山でも新年にあたり、皆さ
まの一年の安泰と開運を祈る御
祈祷を厳修いたします。厄年は
恐れるものではなく、これまで
の自分を見つめ直し、新たな一
歩を踏み出すための好機です。
どうぞこの機会にご家族そろっ
てお参りいただき、仏さまのご
加護のもと、明るく健やかな一
年をお迎えください。

本泉寺開山四百年慶讃浄財奉納者芳名

令和7年7月

納入順

一口	三郷市	齋藤よしの様	一回目	計一口
一口	八潮市	滝口義則様	二回目	計二口
九口	美浦村	山口朝三様	一回目	計九口
一口	八潮市	緒方智恵子様	三回目	計三口

令和7年8月

納入順

二口	三郷市	恩田孝一様	五回目	計十口
一口	八潮市	山田成利様	四回目	計四口
一口	柏市	中田元茂様	一回目	計一口
三口	流山市	後藤幸美様	二回目	計六口

令和7年10月

納入順

一口	草加市	小原幸恵様	一回目	計一口
五口	流山市	後藤慎介様	一回目	計五口

有限会社ゴトウコンベヤー

引き続き皆様のご協力をお願い致します。

勸募期間 令和九年十月十二日まで
勸募金額 一口壱万円より

奉納者芳名

四回目	八潮市	津谷一安様	計一口
三郷市	藤原守様	計一口	
三回目	墨田区	恩田博様	計一口
八潮市	井郷福治様	計一口	
八潮市	板津由起様	計一口	
八潮市	草加市	板津満知様	計一口
八潮市	草加市	後藤ミユキ様	計一口
二回目	松伏町	高田伊豆美様	計一口
新宿区	平野猛史様		
八潮市	恩田操様		

合計九十五口

令和七年七月一日現在

株式会社サンライズ

富士見市	杉山淳様	計三口
八潮市	緒方智恵子様	計二口

八潮市	滝口勝四郎様	計三口
八潮市	恩田隆二様	計三口

石川塗装株式会社

越谷市	石川智淳様	計三口
春日部市	高橋真典様	計二口
足立区	恩田明広様	計二口

株式会社ミユキ東京企画

流山市	後藤幸美様	計二口
朝霞市	川端登様	計一口
葛飾区	恩田富美枝様	計一口
三郷市	山後和義様	計一口
八潮市	滝口義則様	計一口

〈連載〉

本泉寺見仏記

こうもくてん

広目天

第9回

もし衆生、邪法に犯す者有らば、われ智慧の眼を以てその行いを観察し、その善悪を記し、正法を護持し、国土を安穩ならしむべし。

『金光明最勝王經』

心眼で世を見通す

広目天王は、仏教における「四天王」の一尊であり、西方を守護する護法善神である。

その名前の由来は「広く目をもつて衆生を見守る」ことにあり、仏教の伝来とともに中国、日本へと伝播し、仏教世界観の中核的存在として受容された。

經典では『金光明最勝王經』や『仁王護国般若波羅蜜多經』に登場し、国家の安泰や仏法護持のために誓願を立てる姿が説かれている。

広目天は特に、衆生の行いを観察し、善悪を記録し、正しい道へと導く

役割を持つとされる。

日本においては、平安時代以降、四天王信仰とともに広目天も盛んに祀られた。

寺院の本堂や四天王門に安置されることが多く特に護国・厄除け・学業成就の祈願対象として信仰されている。

神仏習合期には、妙見菩薩や北辰信仰と結びつき、星辰や方位の守護神としても尊崇された。

像容としては、甲冑に身を包み、右手に宝棒または剣や筆を持ち、左手に経巻や宝物を持つ姿が一般的である。

勇猛な表情をしながらも、その目には衆生を見守る大いなる慈悲が込められている。

四天王の中では、西方を守護するとされ、日々の信心と仏法の護持を象徴する尊像である。

衆生の行動を正しく見抜き、因果の理を明らかにし、仏法を護り国家や社会の安寧を守ると誓った広目天を拝することで、私たちは智慧と正義を見失わず、平穏な生活と社会の安寧を願うことができるのである。

本泉寺の広目天像は、第十九世恵了院日顕上人が四天王の一尊として勸請開眼した像である。

明治二十年の本堂火災の際には、宗祖日蓮大聖人の尊像と共に檀信徒によって本堂より運び出され、火難を逃れている。



広目天立像
像高 三十六cm
奥行 十二cm
恵了院日顕上人造像

お寺の掲示板

開運妙見大菩薩「除方位守」奉製

この度、妙見大菩薩のご加護をいただけるよう【開運妙見大菩薩除方位守】を謹んで奉製申し上げました。

本泉寺が奉安する妙見大菩薩は、北極星を本地とし、星辰を司る尊格として、古来より方位の障りを除き、寿命長久・家宅安穩・諸願成就を守護してこられた仏菩薩であります。

本守は、常にご隨身いただけるようカード型に奉製いたしました。

どうぞ財布や定期入れなどに納めて常にご携帯くださり、妙見大菩薩と御本尊の大慈大悲のご加護をいただいて、安穩無事に日々をお過ごしくださいますよう切に願い申し上げます。



申込み：1体 / 2000円

- ・表面には、日蓮宗の根本尊体たる大曼荼羅御本尊をおさめ、お題目の大法力によって諸仏や諸天善神のご加護を頂戴申し上げられるよう意を凝らしました。
- ・裏面には、本宗における修法の大験者である『遠壽院日久上人』が顕された「本覚五神法」を方位除けの法印として、また、吉方を守る吉神の御名を記し、移動・旅行・新居・建築など、日々の生活における様々な方難・厄災を除く功德を具えております。

日蓮大聖人の言葉から学ぶ

ききよう

亀鏡なければ我が面をみず

わ つら

てき

わ ひ

敵なければ我が非をしらず

【開目抄】

この言葉は、鏡がなければ自分の顔が見えないように、人は他者や出来事を通してしか、自分の心の姿を知ることができません。日蓮大聖人は、迫害や批判といった苦難の中でこそ、信心の真実が明らかになると示されました。私たちも、思いどおりにならないことや人との衝突の中に、自らを映す鏡を見るべきでしょう。そこには、我が心の慢心や執着を照らし出す仏の慈悲があります。敵と思う人も実は私たちを成長へと導く大切な縁。すべての出来事を師とし、感謝の心で受けとめるとき、そこに仏道の歩みが始まるのです。

十二月以降の年中行事

○新年祝祷会

一月一日（木）午前八時

○妙見大菩薩特別大開帳

一月一日（木）午前九時開帳
三日（土）午後四時閉帳

○新年星祭開運祈禱会

一月四日（日）午後二時

○令和八年初甲子大黒祭

二月十九日（木）午前十時

茶坊主の

小部屋

●今号の表紙を飾った桃の木が今年の春を最後に静かに立ち枯れた。長年、桜の木と共に見事な花を咲かせて参拝者を楽しませていた姿を思うと寂しさと共に深い感謝が湧く。命の移ろいを見つめつつ、新たな芽吹きに祈りたい。



第13号は令和8年春発刊の予定です

発行



HONSENJI

日蓮宗 妙福山 本泉寺
埼玉県八潮市二丁目1472-1

TEL:048-996-9843

FAX:048-999-1884

mail:info@honsenji.jp